

月刊誌『統計』

連載「国勢調査の100年 ～いまを知る。その積み重ねが未来をつくる～」

著者：総務省統計局国勢調査担当職員

掲載号：2019年10月号～2021年3月号

(2019年11月、2020年9月を除く毎月。)(全16回)

概要：

この連載は、国勢調査の開始100周年に当たる2020年国勢調査の実施の機会に執筆されたものです。初期から現在に至るまでの国勢調査の変遷を、調査事項、調査方法、集計方法、結果利用など様々な観点から情報を整理して解説しています。また、国連による人口・住宅センサスに関する国際基準や諸外国の国勢調査について概観した上で、国勢調査のこれからを展望しています。

各回のテーマは次のとおりです。

回	年月	テーマ
前半		
(1)	2019. 10	調査事項の変遷
(2)	2019. 12	調査方法の変遷
(3)	2020. 1	国勢調査員
(4)	2020. 2	国勢調査調査区
(5)	2020. 3	調査票と集計方法
(6)	2020. 4	集計体系
(7)	2020. 5	小地域集計
後半		
(8)	2020. 6	国勢調査実施の法体系
(9)	2020. 7	国勢調査の定義① 調査を受ける場所
(10)	2020. 8	国勢調査の定義② 調査の単位
(11)	2020. 10	国勢調査の利活用① 法定人口としての利用
(12)	2020. 11	国勢調査の利活用② 民間企業や学術研究、統計作成のための利用
(13)	2020. 12	人口・住宅センサス実施に関する国連勧告
(14)	2021. 1	諸外国の国勢調査①
(15)	2021. 2	諸外国の国勢調査②
(16)	2021. 3	これからの国勢調査